

グローバル世界をつなぐ 長崎・中国

- 記憶の共同体を目指して -

入江 昭 ハーバード大学名誉教授, アメリカ歴史学会元会長
「グローバル・ヒストリーのなかの長崎」

平野 健一郎 東京大学・早稲田大学名誉教授 東洋文庫常務理事
「国際文化関係史と長崎・平戸」

李 廷江 中国清華大学日本研究中心教授, 日本中央大学教授
「長崎と中国、孫文を中心に」

事前申込み不要

日時 平成28年10月21日（金） 14:30~17:40

会場 長崎大学文教キャンパス
グローバル教育・学生支援棟 4F スカイホール

問合せ 長崎大学多文化社会学部 Tel: 095-819-2904 (森川)

主催 長崎大学多文化社会学部・多文化社会研究会

共催 長崎大学「ワンアジア研究プロジェクト」

【講演者プロフィール】（講演順）

入江 昭（いりえ・あきら）



東京都出身。1957年ハヴァフォード大学卒業後、1961年ハーバード大学大学院博士号（歴史学）を取得。1961年ハーバード大学講師、カリフォルニア大学サンタクルーズ校助教授、1968年ロチェスター大学准教授、1969年シカゴ大学歴史学部准教授、1971年同教授、1989年ハーバード大学歴史学部教授、同大歴史学部学部長を歴任。1988年には日本人として初めてアメリカ歴史学会会長を務めた。2005年瑞宝重光章。著書に『歴史家が見る現代世界』講談社（2014）、『米中関係のイメージ』平凡社（2002）、『二十世紀の戦争と平和』東京大学出版会（1986）など。

平野 健一郎（ひらの・けんいちろう）



茨城県出身。1961年東京大学教養学部卒業後、1967年ハーバード大学大学院で博士学位（歴史学）を取得。1969年上智大学外国語学部専任講師、東京大学教養学部教授を経て、早稲田大学政治経済学部教授（1998～2007）。日本国際文化学会の初代会長（2001-2005）。著書に『国際文化論』東京大学出版会（2000）、『日本文化の変容』講談社（編著,1973）、『国際関係論のフロンティア（2）近代日本とアジア』東京大学出版会（編著,1984）、『戦後日本の国際文化交流』勁草書房（編著,2005）、『日中戦争期の中国における社会・文化変容』東洋文庫（編著, 2007）、『国際文化関係史』東京大学出版会（共編,2013）など。

李 廷江（り・ていこう）



中国瀋陽市出身。1988年東京大学大学院にて博士号（学術）取得。亜細亜大学国際関係学部教授を経て、現在、中国・清華大学日本研究中心常務主任兼中央大学法学部政治学科教授（中国政治論）。著書に、『日本財界と近代中国』御茶の水書房（2003）、『日本財界と辛亥革命』中国社会科学出版社（1994）。共編著として『近衛篤磨と近代中国』原書房（2003）、『中国経済の発展と改革』御茶の水書房（1994）など